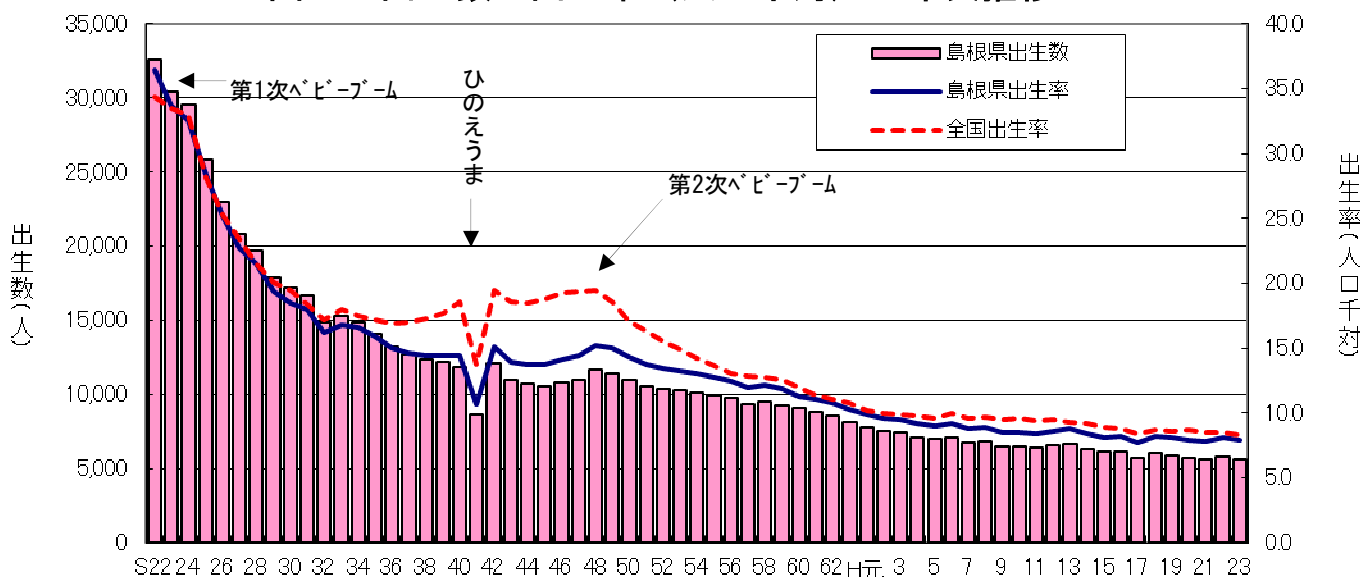


2 出生

(1) 出生数・出生率

平成 23 年の出生数は 5,582 人で、前年の 5,756 人から 174 人減少し、出生率（人口千対）は 7.9（全国第 32 位）で、前年の 8.1 を 0.2 下回った。出生数、出生率ともに昭和 46～49 年の第 2 次ベビーブーム以降、ゆるやかな減少傾向が続いている（図 1）。

図 1 出生数・出生率（人口千対）の年次推移



出生数を母の年齢（5 歳階級）別にみると、35～39 歳では前年より増加したものの、そのほかの年齢層で減少した（表 2）。

表 2 母の年齢（5 歳階級）別にみた出生数

母の年齢	出生数				対前年増減		
	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	21 年－20 年	22 年－21 年	23 年－22 年
総数	5,685	5,601	5,756	5,582	△ 84	155	△ 174
～14 歳	-	-	-	1	-	-	-
5～19	79	87	71	62	8	△ 16	△ 9
20～24	682	687	691	654	5	4	△ 37
25～29	1,807	1,769	1,795	1,672	△ 38	26	△ 123
30～34	2,026	1,973	1,986	1,958	△ 53	13	△ 28
35～39	976	968	1,049	1,075	△ 8	81	26
40～44	113	112	162	160	△ 1	50	△ 2
45～49	2	5	2	-	3	△ 3	△ 2
50 歳以上	-	-	-	-	-	-	-

出生順位別にみると、平成 23 年は第 3 子以上が前年より増加し、第 2 子以下で減少した（表 3）。

表 3 出生順位別にみた出生数の年次推移

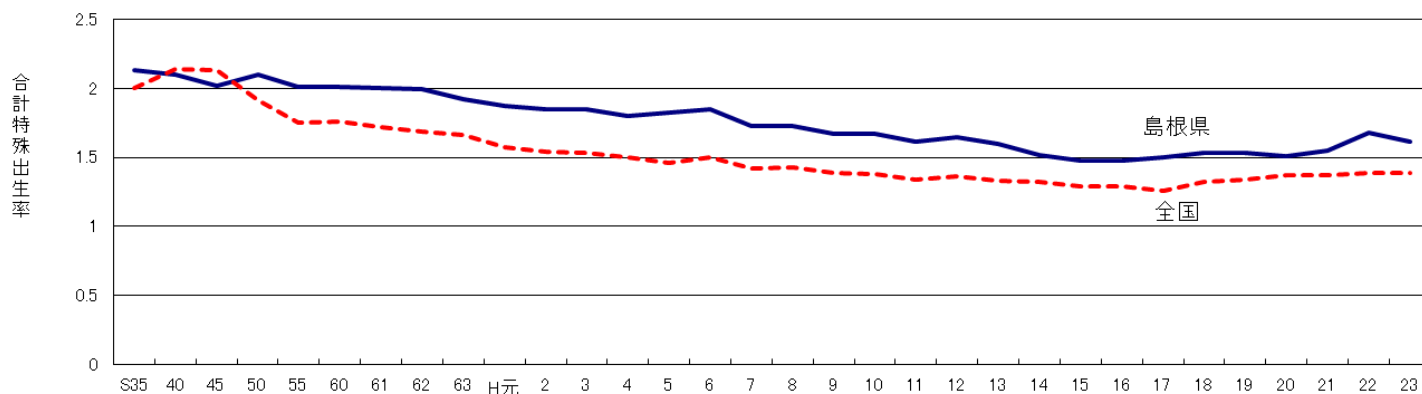
出生 順位	出生数				対前年増減		
	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	21 年－20 年	22 年－21 年	23 年－22 年
総数	5,685	5,601	5,756	5,582	△ 84	155	△ 174
第1子	2,351	2,373	2,408	2,376	22	35	△ 32
第2子	2,130	2,095	2,139	1,938	△ 35	44	△ 201
第3子以上	1,204	1,133	1,209	1,268	△ 71	76	59

（2）合計特殊出生率

平成 23 年の合計特殊出生率は 1.61 であった。全国と比較すると、昭和 50 年以降一貫して島根県が上回っており、平成 23 年の順位は全国第 5 位である（図 2）。

なお、合計特殊出生率の算定の基礎となる年齢 5 歳階級別女子人口については、平成 22 年などの国勢調査年は日本人人口を、その他の年は総務省推計人口（総人口）を使用しているため、数値の比較においては注意を要する。

図 2 合計特殊出生率の年次推移



年齢（5歳階級）別合計特殊出生率の昭和45年以降の推移を見ると、年により多少の増減があるものの、概ね20歳代では低下傾向、30歳代では上昇傾向にある。平成23年は25～39歳の各階級で低下した。（図3）。

図3 合計特殊出生率の年次推移【年齢階級別内訳】

